

GOAL DODGE TOURNAMENT

2016Season 第4回

ゴールドッチ大会

<大会報告書>



ゴール
ドッチ

2017年3月24日

DBJA Dodge
Bee of
Japan
Association

【開催要項】

日 時	2017年3月19日（日曜日）
会 場	横浜みなとみらいスポーツパーク 横浜市西区みなとみらい6-2-1 045-222-8189 みなとみらい線新高島駅より徒歩7分 各線横浜駅より徒歩15分
主 催	日本ドッチビー協会 DBJA
協 賛	東京キンビバレッジサービス株式会社 ワタミ株式会社 株式会社ミカサ 文化シャッター株式会社
協 力	株式会社クラブジュニア（大会当日販売ブース設置）
部門／資格	小学生部門／一般部門（年齢性別制限なし）
表 彰	小学生部門／一般部門、それぞれ優勝および準優勝チームを表彰。（今大会では第三位の表彰はありません） DBJAより表彰状とビーザック、および優勝チームにはガラス盾を贈呈。 表彰副賞として東京キンビバレッジサービス提供 K I R I Nロゴ入りドッチビー270ディスクを贈呈。
参 加 賞	すべての参加者（選手申込者）に対して以下を各1贈呈。 ・東京キンビバレッジサービスご提供＝555mlドリンク ・ワタミご提供 ＝ グループ共通お食事券（500円） ・文化シャッターご提供 ＝ ネックストラップ
抽 選 会	すべての参加者（選手申込者）を対象に抽選で30名にミカサ公式ディスク270を進呈。

【競技方法】

<対戦組合せ>

今回、小学生チーム×6、混成および成人×6、合計12チームの申込みをいただきましたので、小学生部門／一般部門の2カテゴリーに分類して試合をおこないました。

<対戦形式>

小学生／一般部門ともに

予選 ➡ 3チーム×2リーグの総当りリーグ戦。

決勝 ➡ 6チームによるトーナメント戦により優勝／準優勝を決定。

<ルール>

日本ドッチビー協会公式ルールで実施。

以下項目は大会独自ルールを採用。

- 1) 試合人数 / 全試合5名。
- 2) 試合時間 / 全試合、前／後半各7分、ハーフタイム2分
- 3) 同点扱い / 規定時間終了時、同点の場合、
予選 ➡ 引き分け（勝点制）
決勝 ➡ PT戦により勝敗を決定。

※大会結果／対戦スケジュール（当日タイムスケジュール）は別紙をご参照ください。

【最終成績】

小学生部門	優勝	:	M. D. C
小学生部門	準優勝	:	尾久西ビィクティニーズ
一般部門	優勝	:	M. D. C
一般部門	準優勝	:	NDCヤソップ

【参加チーム一覧】

小学生部門		大人	小人	計
大乱闘中	荒川区／クラブ		11	11
尾久西ビィクティニーズ	荒川区／クラブ		8	8
NDCウソップ	足立区／クラブ		10	10
G u t s 柏木・A	新宿区／クラブ		6	6
G u t s 柏木・B	新宿区／クラブ		7	7
M. D. C	武蔵野市／クラブ		8	8
一般部門		大人	小人	計
ねぎちる	企業／混成チーム	6	3	9
NDCヤソップ	足立区／混成チーム	5	2	7
ビィクティニーズ	荒川区／中学生	2	6	8
ちやばんず	成人／クラブ	7	0	7
M. D. C	武蔵野市／混成クラブ	8	1	9
s t y l e	神奈川県／大学生	7	0	7

●チーム総合計 : 12チーム

●参加選手総数 : 97名

内訳/小人(中学生以下) 62名

/大人 35名

◆大会関与者総合計 129名

●大会関係者総数 : 32名

◆観戦・引率保護者数 約50名

内訳/チーム監督・コーチ 20名

/主要スタッフ 12名

大会関係者総合計 約180名

【講 評】

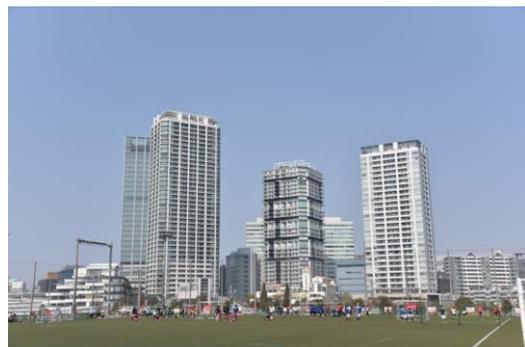


3月19日(日曜日)朝から快晴、とても快適な気候に恵まれた中、DBJA主催による今年度通算で4回目の開催となるゴールドタッチ大会がおこなわれました。会場は主催大会では初となる横浜みなとみらいスポーツパークでの開催です。

人工芝の屋外施設でサッカーのフルコートが取れるメインフィールドの半面を貸切り。半面とはいえ、ほぼフルサイズに近い38×18メートルのフットサルコート3面分のスペースがある広大な会場は、天候に恵まれたこともあって非常に気持ち良い空間でした。



参加者の評判も良く、屋外での大会開催は主催者として雨天時のリスクがあるものの、天候に恵まれれば良好な環境となることがあらためて実感できました。



そのような環境のため大会の事前募集は、過去最大枠の24チームを募りましたが一週間前には今年度最大規模となった中域ディスクドッジ大会があったこと、さらに年度末の忙しい時期といった事情からか、12チームの申込みに留まりましたがその内訳は小学生=6、一般=6、となり競技運営上、好都合なチーム数となったこと、また、コートがフルサイズに近い広さがあることから正規ルールの5人vs5人での対戦とするなど、競技面での充実が図れた内容となりました。



参加選手約100名、応援その他関係者合計、約200名弱が集い、10時過ぎより開会式を開始。全員が集合しての記念撮影の後、第1試合を予定通り、スタート！！



屋外のため、風の影響が心配されましたが気になるほどの風が吹くことはなく、順調に競技は進行していきました。

全試合、主審と記録はDBJAメンバーが担いましたが、今年度シリーズで開催したゴールドッチ大会はルール把握の促進策として、副審を各チームメンバーから選出の上担っていただくという試みをおこなったことで昨年9月に改定したルールもかなり浸透してきたように感じる事ができました。



14:30 から初の試みであった公式ディスクが当たる抽選会を実施！ 当選番号を参加者の皆さんに抽選していただきました。当選した皆さん、おめでとうございます！！

残念ながら当選しなかった全ての方にもスポンサー様ご提供の参加賞を配布しました。



また、ゴールドドッチ大会ではこれも初となる試みで(株)クラブジュニア様のご協力をいただいてディスクグッズの特価販売コーナーを設置！
参加者に喜ばれていました。



戦績の結果は小学生／一般の両部門ともにM. D. Cが制覇しました！年間通して、ゴールドドッチ大会で常に上位を占めた同チームですが、その強さは日頃からのドッチビーに携わる機会の長さや指導体制が確立していることが大きな要因ではないかと思えます。試合の詳細結果は別紙をご参照ください。



表彰式で賞状・盾・副賞などが贈呈されのち、閉会式で協会副代表より今後の大会予定などをお伝えして閉会挨拶とさせていただきます。

今回、関係各位のご協力により、初づくしの大会となりましたが無事に全プログラムを終了することができましたことを感謝いたします。

